

20 独自取材のリアルな写真で学ぶ 海のプラごみ、マイクロプラスチック問題 団体名 NPO 法人海の森・山の森事務局



講座対象者	■小学生 ■中学生 ■高校生 ■大学生 ■地域一般
対応可能曜日	■平日 ■休日 □その他（曜日のみ）
対応可能時間	8時00分から21時00分までの間
講座実施方法	■対面講座 → ■講義 □工作・実験 ■グループワーク ■見学・体験 ■オンライン講座 → ■講義 □工作・実験 ■グループワーク □見学・体験
講座実施時間	90～135分（応相談 子どもたちにしっかりと学ばせるには135分がおすすめ）
実施条件、 必要な準備等	〔対面講座〕大型テレビモニターまたはプロジェクター、スクリーン 〔オンライン講座〕ZOOM等の使えるオンライン環境

内 容
1. 講座の流れ 海の生き物たちの暮らし → 海のプラスチックごみの実情 → 生き物たちに対するプラスチックごみの影響 → 街中から流出するプラごみ → マイクロプラスチックについて → ドイツのペットボトルとレジ袋の取り組み → どうしたらプラごみを減らせるか？ 子どもたちの取り組み みんなで意見交換 → 講師と質疑応答 2. 講座のお勧めポイント 写真家（当NPO 豊田理事長）が20年前より取材撮影した現場写真、水中写真をふんだんに盛り込み、ビジュアル的に参加者をぐいぐいと授業の中に引き込みます。残酷なものやグロテスクな写真は一切含みません。 当NPO 豊田理事長が2015年にドイツで環境リーダー育成研修を受けており、その時学んだドイツでのプラごみを出さない暮らし方を解説します。 すでに200件以上、小学校を中心に、中学校、高等学校でこのテーマで実施した豊富な経験があります。 3. 楽しく学べる工夫 写真家の撮影した写真を次々に見せていながら、体験談ベースに話が興味深く展開するので、退屈する間は ありません。 4. 学びのポイント (1) 海洋プラスチック汚染の現状と海の生き物たちへの影響の理解促進 (2) 海洋プラスチック汚染、マイクロプラスチックが、私たちにおよぼす影響の理解促進 (3) プラごみをどうしたら減らせるか、自分たちにできるアクションへの誘導 → 子ども環境サミット

①この出前講座に関連する教科書の主な項目	小学校 5、6年生（家庭科） B食生活 C消費・環境 持続可能な社会のために 3～6年生（社会） SDGsとつなげて考えよう 中学校 中学（時事問題） 総合授業 探究学習又は中学校社会
②主に関連のあるSDGsのゴール	   